

10月 クラスだよ

ちゅーりっぷ組



【 今月の目標 】

- 食事、排泄、着脱など身の回りのことを自分でしようとする。
- 生活や遊びの中で、言葉のやり取りを楽しむ。
- 身近な素材をちぎったり貼ったりして、手指を使うことを楽しむ。
- 体を動かすことを楽しみながら、運動会に参加する。

先月の子どもたちの姿と保育者の関わり

落花生を収穫しました。5月から水やりを欠かさずに行ってきた落花生。土の中に隠れ、長い間その姿を見ることできませんでしたが、子どもたちが茎を握り「うんとこしょ」と力いっぱい引っ張ると、根っこにたくさんの落花生がついていました。「わあー！！」という歓声とともに目を輝かせる子どもたち。収穫した落花生はきれいに洗って給食の先生にお願いして、茹でてもらいました。硬い皮と格闘しながら、「もっと食べたい」とたくさんおかわりをして、収穫の喜びを味わいました。



デイ緑に、慰問へ行ってきました。今年度3回目のデイ緑ということもあって、今回は今までより近い利用者様のお隣に座らせていただき、体操や歌をうたいながら交流の時を持ちました。「いくつ？」と年齢を聞かれ、得意気に指を立てて「3歳！」と答えたり、「かわいいねえ」と頭をなでてもらったり、短い時間ですが回数を重ねることで、心の距離も縮まったようです。

探検ごっこを楽しんでいます。お部屋が夏の青い海から、緑生い茂るジャングルに変身しました。天井からはみんなで作ったツルに、お猿さんが遊びに来ています。池にはワニが姿を現し、落ちないようにそうとそうと平均台の橋を渡ったり、双眼鏡を覗き込んだり、気分はすっかり探検隊です。

色水遊びが盛り上がっています。お散歩で色のついた実や草花を見つけると「これもやってみようか？」と持ち帰り、すり鉢ですりつぶし、茶こしでカスを取り除けば、キレイな色水の完成です。ひとつひとつ丁寧に実を入れたり、水で色の濃さの変化を楽しんだり、花だけでなく葉をすりつぶしてみたり、新作の開発も進んでいるようでした。



運動会の練習が始まりました。10月に新玉幼稚園で行われる運動会の練習に参加させていただき、行進やディズニー体操にがんばって取り組んでいます。最初は緊張もあり、硬い表情の子どもたちでしたが、練習を重ねることで少しずつ笑顔も見られるようになり、楽しく体を動かしていました。幼稚園のお兄さん・お姉さんの競技では、ポンポンを持って応援したり、憧れの眼差しで練習を見る姿がありました。

これからの保育と保育の取り組み方

■生活

夏を乗り越え、体も心も大きくなった子どもたち。給食や着替え、排泄時には「自分で！」と自ら頑張ったり、一番になれないと涙を流したり少しずつ周りが見えてきて、色々な思いが出てきています。子どもたちの気持ちを大切にしながら、がんばった時や我慢できた時にはたくさん褒めて、自信へとつなげていきたいと思ひます。

また、お昼寝やふと寂しくなった時、力が入らない時に、子どもたちの心の支えになっているのが、お母様たちが作ってくださった人形です。お人形に見てもらったり、近くにいてもらうことで、大きな力となり元気が湧いてくるようです。



■遊び

行進や体操、お兄さん・お姉さんのがんばる姿を見ながら、運動会を通して体を動かすことの楽しさを感じながら、走ったり、跳んだり、ボールを投げたり、蹴ったり、二ノ丸広場のような広い場所で、全身を使って思い切り遊ぶ機会をたくさん作っていきたく思ひます。お部屋の中では、ドミノ遊びのような集中する遊びも取り入れ、並べたり積み重ねたりの遊びを通し、手先を上手に使えるように促していければと思ひます。探検ごっこも、葉っぱやバナナを増やしたり、平均台やトンネルを使いながら遊びを広げていき、楽しい時間を過ごしたいと思ひます。



.....お願い.....

- 今後も日中は暑い日が続くことが予想され、汗をたくさんかいたり、引き続きトイレトレーニングで着替える機会が多くなるかと思ひますので、持ち帰った分補充をお願いいたします。
- スモックの着用と、ポケットにハンカチの準備をお願いいたします。



10月 クラスだより

たんぽぽ組



【今月の目標】

- やりたい意欲を受け止めながら、食事、排泄、着脱を保育者と一緒にやってみる
- 歩く、走る、跳ぶ、登る、くぐるなど、全身を使った遊びを楽しむ。
- 秋の自然や木の実、虫などいろいろなものにふれて喜ぶ。

○先月の子どもの姿と保育者の関わり

こねこね・・・

小麦粉粘土、上新粉粘土で遊びました。粘土を子ども達に前に出すと「なんだこれ？」といった表情でツンツンと触ってみる子ども、手を後ろにしまって「嫌だー！」と触らない子ども、気になるけど触るのに勇気が出ない子ども、それぞれが違う反応を見せてくれました。保育者が「楽しいな～！」と言いながらちぎってみたり、こねこねと丸めてみたりすると、少しずつ興味を示し、だんだんと一緒に触って遊ぶことができるようになりました。毎日繰り返し遊び込んでいくことで、触れなかったお友だちも、ハンバーグのように形を作っておまごとのフライパンに乗せて焼いてみたり、包丁を使って小さく切ってみたり、「美味しそうだな～！」という保育者に「あーん」と食べさせてくれたりしながらごっこあそびに発展してさらに楽しむことができました。またたくさん遊んで色々な色が混ざったカラフル粘土を、園長先生が作ってくれたコーンやカップに詰めて、乗せてアイスクリームに変身！まるでアイス屋さんになった気分です。「みてー！」とニコニコ笑顔で食べる真似をしていました。

お散歩へ

だんだんと涼しくなってきたので、電車を見たり、トンボやすずきなど植物を探したりしながら散歩を楽しみました。数か月前は、電車に向かって保育者が張り切って手を振っていましたが、今では自ら子ども達が手を振って、「ポッポー！」と汽笛を鳴らしてくれると嬉しそうに拍手！！昨日猫が寝ていた場所を覚えていて、今日はいないと言わんばかりに声を出して指を指したり、手をつないで長い距離をしっかりと歩けるようになってきました。散歩でも、子ども達から発見があったり、以前より多くの反応が見られるようになって、楽しんでいるんだな～と、とても嬉しく思います。

ワニだよ～！

緑色のビニール袋にたくさんの新聞紙をクシャクシャに丸めて詰めました。頑張って詰め終わると、次の日には・・・なんと大きなワニに変身！！怖がるかと思いきや、ニコニコしながら近づき口の中を見たり、しっぽをガシッと掴んで保育者を驚かせていました。下にワニが泳いでいる平均台の上を保育者と手をつないで渡ったり、ワニを起こさないように急いでトンネルを通ってみたり、ちゅーりっぷぐみさんの動きをよく見ながら一緒にジャングルごっこを楽しみました。



自分でやってみるよ！！

様々な場面で身の回りのことを少しずつ自分でやってみようとする姿が見られるようになってきました。帽子や靴下をカゴに取りに行ったり、自分でハイハイをして廊下を移動したり、自分ではりきって給食を食べてみたり、できることを少しずつ「自分で！」と頑張っています。パジャマの着替えでは自分でパジャマ袋を取りに行き、パジャマを袋から出してみたり、一人で着替えてみたり、バンザイと着替えに協力してくれたり、それぞれが一生懸命できることに取り組んでいます。反対に着てしまったり、おしりが見えていたり、しまった洋服をまた出してしまったりしますが、出来た時の「自分でできた！」という嬉しそうな顔や、褒められた時の誇らしい顔にとっても成長を感じることができました。

○これからの保育の取り組み方と保育者のかかわり

秋の訪れを感じられるように、戸外へ草花や虫を探しに行ったり、運動会に向けてヨーイドンをしたり、保育者と一緒にたくさん体を動かして遊んでいきたいと思っています。室内でも子ども達が作った動物たちに囲まれてジャングルごっこで、トンネルをくぐったり、ジャンプをしたり、全身を使って楽しんでいきたいと思っています。また、ちゅーりっぷぐみとの活動や、保育者と一対一で関わる時間も作り、その中でまねっこや、言葉でのやりとりもじっくりと楽しんでいきたいと思っています。自分で！という気持ちも出てきているので、その気持ちを大切にしながら、一人一人の成長に合わせて保育を進めていきたいと思っています。



10 月 クラスだより

すみれ組

【今月の目標】

- 室内外の気温に留意し、体調、状態に合わせてなるべく薄着を心掛け、元気に過ごす。
- 身の回りの物や自然に触れる機会を通して、いろいろなものに触れられるようにし、探究活動を楽しむ。



○先月の子どもの様子と保育者のかかわり方

散歩・・・

天気の良い日や涼しいときには、ラスカの屋上や緑町方面、公民館前に行きました。ラスカでは芝生に触れたり、池にいるお魚を見つけて保育者に教えてくれたり、追いかっこなどをしたくさん体を動かすことが出来ました。緑町方面では、目の前を通っていく電車に「ばいばい」と手を振ったり、猫じゃらしを持って帰ってきたりと自然にたくさん触れることが出来ました。カンガルーに帰る前に公民館のところへ行き「よーいどん」をしたり、お寺にいる犬を見ようと保育者の手を引っ張り、吠えられるとびっくりして「わあー」と言いながら逃げますが、何度も繰り返して見に行っています。



ぶどう・・・

缶ぽったんなど、何かに入れることが上手になってきたので、ぶどうを拾ってお猿さんのお口に「どうぞ」とする遊びをしました。床に落ちてしまったぶどうを一つ一つ一生懸命拾い、お猿さんのお口に上手に「ないな〜い」と言いながら入れてくれます。たまに、お口には入れてくれるのですが、途中で止めて、また抜く・・・という姿があり、お猿さんも苦しそうです・・・。



給食後に絵本を読む時間を作りました。果物などの食べ物が見ているものを見て保育者が「どうぞ」とやると、口を開けてモグモグと食べています。保育者と関わりながら毎日楽しく絵本を読んでいます。



これからの保育の取り組み方と保育者のかかわり方

今月も引き続きぶどうを行っていききたいと思います。ぶどう以外にも種類を増やし、保育者と一緒に関わりながら楽しい遊びにしていきたいと思っています。

10月に入り、暑い日もあると思いますが、涼しい日には散歩に出かけ思い切り体を動かしたり、時にはゆったりとした空間の中植物に触れてみたりと自然に触れる機会を作っていきたいと思います。

食事面では、自分でスプーンを持って食べる姿がたくさん見られてきているので、継続して行い「自分で食べたい!」という気持ちを大切にし、保育者が1人1人丁寧に関わりながら楽しい雰囲気の中練習も食事をしていきたいと思っています。

○おねがい



☆スモックやシーツ等のワッペン、ネームシールはアイロンだけですと剥がれて取れてしまう可能性がありますので、必ずアイロンと、周りを縫い付けていただきますようお願い致します。